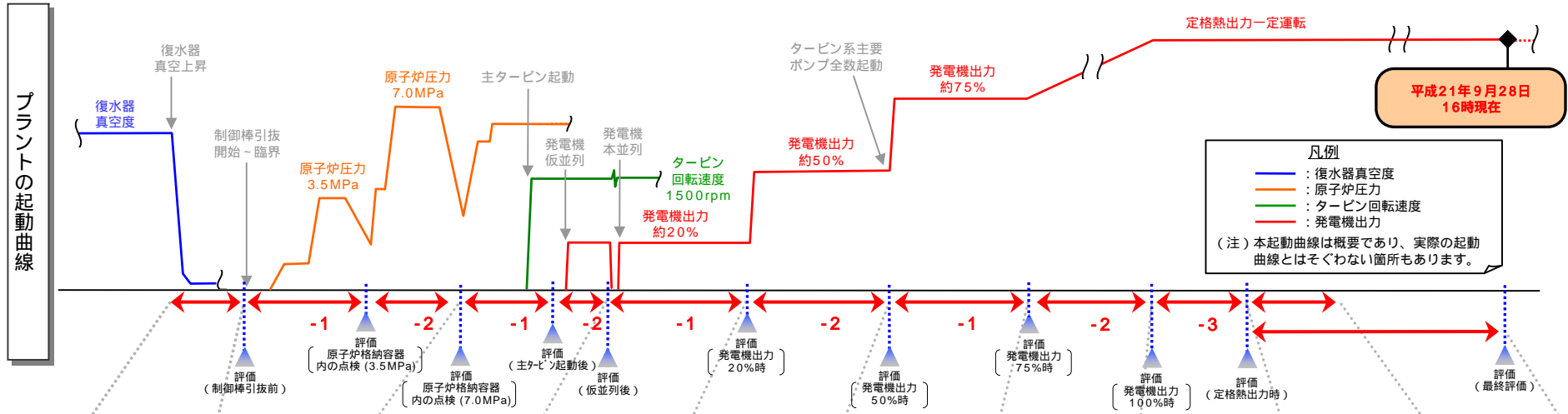


柏崎刈羽原子力発電所6号機 新潟県中越沖地震後のプラント全体の機能試験に係る進捗状況

別紙

平成21年9月28日  
東京電力株式会社



凡例  
 〓 : 復水器真空度  
 〓 : 原子炉圧力  
 〓 : タービン回転速度  
 〓 : 発電機出力  
 (注) 本起動曲線は概要であり、実際の起動曲線とはそくわれない箇所もあります。

ホールドポイント	真空上昇時の点検	原子炉昇圧時 (約3.5MPa、約7.0MPa) の点検	主タービン、主発電機の起動時の点検・試験	発電機出力 20%時の点検・試験	発電機出力 50%時の点検・試験	発電機出力 75%時の点検・試験	発電機出力 100%時の点検・試験	定格熱出力時の点検・試験	定格熱出力一定運転時の点検・試験	最終の健全性評価
	主な試験・確認項目*	プラント運転パラメータ採取 主復水器インリーク検査	プラント運転パラメータ採取 原子炉格納容器内の点検 蒸気系・給水系配管・機器漏えい確認 配管熱膨張の影響確認 配管振動確認 原子炉隔離時冷却系設備点検	プラント運転パラメータ採取 主タービン運転状態確認 主発電機総合機能検査 主変圧器、所内変圧器の作動状態の確認	プラント運転パラメータ採取 蒸気系配管・機器漏えい確認 配管振動確認 蒸気タービン性能試験 (その2)	プラント運転パラメータ採取 蒸気系配管・機器漏えい確認 配管振動確認	プラント運転パラメータ採取 配管振動確認 巡視点検	プラント運転パラメータ採取	プラント運転パラメータ採取 蒸気系配管・機器漏えい確認 配管振動確認 巡視点検	原子炉隔離時冷却系機能試験 気体廃棄物処理系機能試験 蒸気タービン性能試験 (その1)
主な評価内容	【復水器真空度上昇後の評価】 制御棒引抜前において、機器 (主復水器等) が健全であることを確認する。	-1【原子炉昇圧 (約3.5MPa) 後の評価】 原子炉圧力 約3.5MPaにおいて、初めて入熱することで状態が変化する原子炉格納容器内の機器・配管等が健全であることを確認する。  -2【原子炉昇圧 (約7.0MPa) 後の評価】 原子炉圧力 定格圧力約7.0MPaにおいて、原子炉格納容器内の機器・配管等が健全であることを確認する。	-1【主タービン起動後の評価】 原子炉からの蒸気を主タービンに供給し、無負荷での主タービンの運転状態が健全であることを確認する。  -2【主発電機仮並列後の評価】 主発電機を系統に仮並列した後、原子炉出力を上昇させて、発電機出力 約20%において主発電機・主変圧器等の健全性を確認する。	-1【発電機出力約20%到達後の評価】 主発電機を系統に本並列した後、発電機出力 約20%において、プラントが健全であることを確認する。  -2【発電機出力約50%到達後の評価】 原子炉の出力を上昇させ、発電機出力 約50%において、プラントが健全であることを確認する。	-1【発電機出力約75%到達後の評価】 原子炉の出力を上昇させ、発電機出力 約75%において、プラントが健全であることを確認する。  -2【発電機出力100%到達後の評価】 原子炉の出力を上昇させ、発電機出力 100%において、プラントが健全であることを確認する。	-3【定格熱出力到達後の評価】 原子炉の出力を上昇させ、定格熱出力において、プラントが健全であることを確認する。	【系統機能試験完了】 定格熱出力一定運転状態において3項目の系統機能試験を行い、系統機能が健全であることを確認する。	【最終評価】 プラントの運転状態を継続的に監視することで、プラント運転状態が安定しており健全であることを確認する。また、最終的にプラント全体の機能試験の結果を評価する。		
評価結果	平成21年8月26日 評価: 良	-1 平成21年8月28日 評価: 良  -2 平成21年8月29日 評価: 良	-1 平成21年8月30日 評価: 良  -2 平成21年8月31日 評価: 良	-1 平成21年9月2日 評価: 良	-2 平成21年9月4日 評価: 良	-1 平成21年9月6日 評価: 良	-2 平成21年9月10日 評価: 良	-3 平成21年9月14日 評価: 良	平成21年9月18日 評価: 良	平成21年9月28日 評価: 良

\* 凡例  
 〓 : 地震後の健全性確認のため、特別に実施する項目  
 〓 : 地震後の健全性確認のため、内容・範囲等を追加した項目  
 〓 : 通常のプラント起動時にも実施している項目

〓 : 前回お知らせ (平成21年9月24日) からの進捗箇所

〓 : 各試験については、個別に9月18日までに評価を行った。

# 評価結果 最終評価

平成21年9月28日 評価完了：良

## < 主な評価内容 >

プラントの運転状態を継続的に監視することで、プラント運転状態が安定しており健全であることを確認する。また、最終的にプラント全体の機能試験の結果を評価する。

## < 主な試験・確認項目 >

プラント運転パラメータ採取、巡視点検 等

